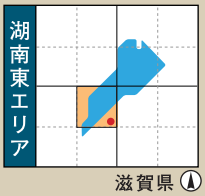
名勝
国指定

大角氏庭園（おおすみしていえん）

栗東市六地蔵　平成13年1月29日指定



慶長16年（1611）、徳川家康が京都へ向かう途中腹痛を起こし「和中散」という薬を頓服したところ、たちまち快復したといいます。江戸時代初期より大角氏は、この和中散を製造販売していました。また、庭園のある大角家（和中散本舗）は、大名や公家が休憩する小休本陣ともなっていました。

当時のできごと	
1615年	大阪夏の陣
1689年	松尾芭蕉が『奥の細道』の旅に出る
1828年	シーボルト事件



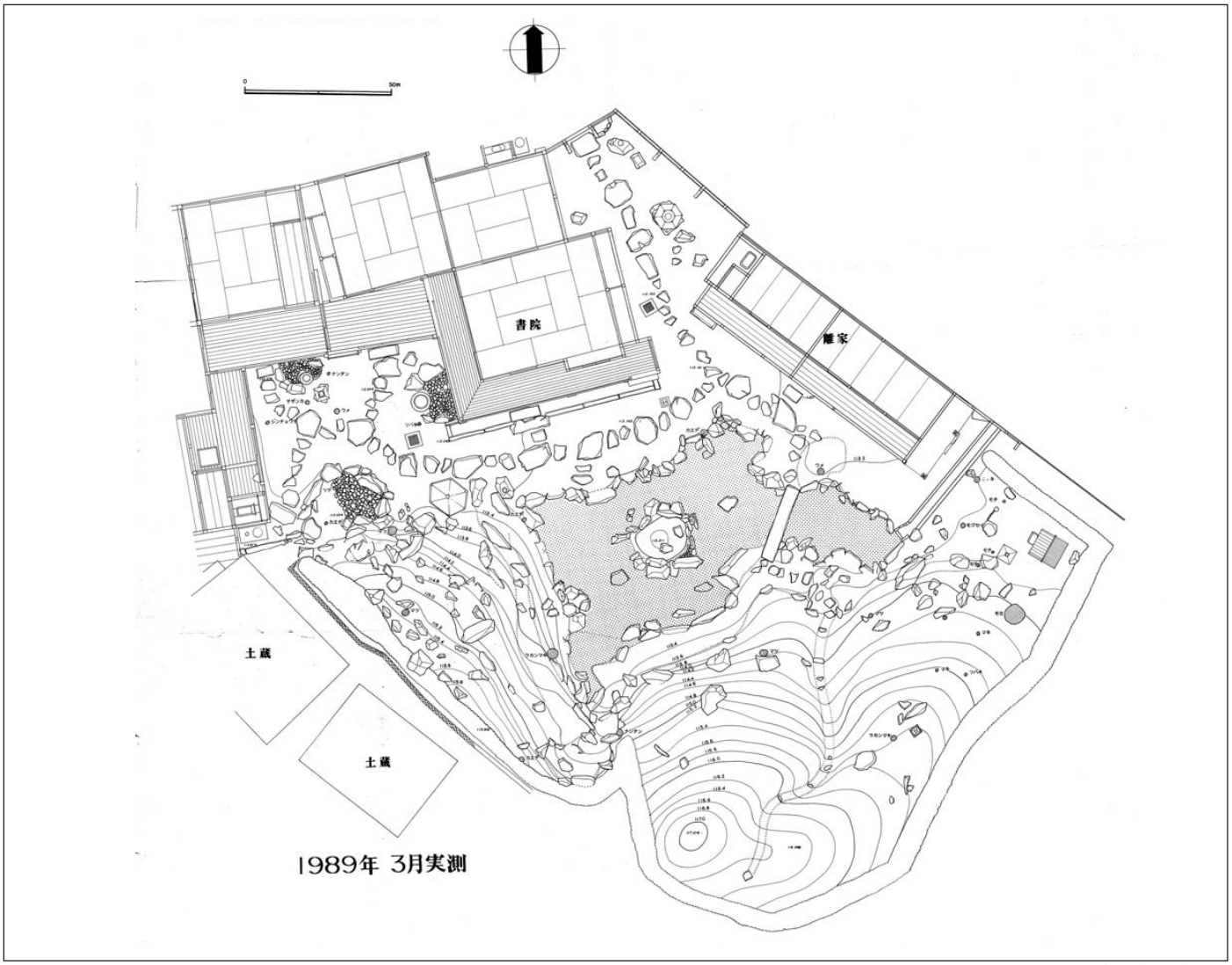
大角氏庭園全景

大角氏庭園について

大角氏は、旧東海道の草津宿と石部宿の間にある「和中散」の製薬販売を行う商家で、屋敷は小休本陣として、公家大名の休憩所ともなっていました。庭園は、元禄年間（1688～1704）に建てられた書院に面しており、この頃に築庭されたものと考えられます。急勾配の築山を配した園池式で、要所に枯滝や石組を配します。小振りながらも整った構成を持ち、江戸時代の商家の趣味や嗜好を今に伝える庭園として、大変に貴重なものです。



書院より庭を見る



大角氏庭園実測図

大角家と和中散

大角家は、製薬販売をなりわいとしていました（史跡旧和中散本舗：学習シートNo.022）。大角家のある梅の木は、道中薬を販売する多数の薬屋や、もぐさ屋があることで東海道でも特に有名な間の宿（あいのしゅく）となっていました。文政9年（1826）にはシーボルトもここに立ち寄り、和中散を始め様々な薬を買い求めています。大角家の本家と隠居所の建物は重要文化財に、敷地は史跡に指定されています。

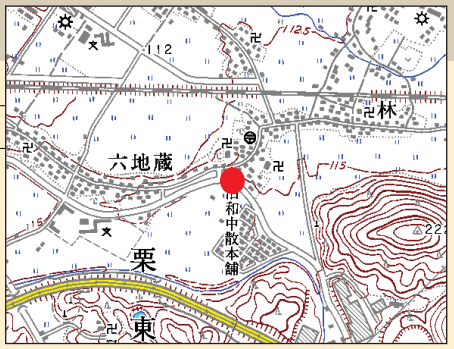
関連する文化財

史跡旧和中散本舗（栗東町）	学習シートNo.022
史跡草津宿本陣（草津市）	学習シートNo.017
県名勝安養寺庭園（栗東町）	学習シートNo.098

もっと深く知りたい

栗東歴史民俗博物館	☎077-554-2733	栗東市小野223-8
栗東市教育委員会	☎077-551-0131	栗東市安養寺8-4-5

大角氏庭園へのアクセス　JR草津線　手原駅下車



【参考文献】〔滋賀の美 庭〕京都新聞社　〔滋賀県の庭園1～3〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月